



# いっぱん質問



廣瀬 公彦 議員 P.12

市場調査を下山田地区へ説明したか

田中 義幸 議員 P.13

教員による性暴力の状況は

出水 貴之 議員 P.14

消防団詰所の整備計画は

藤 伸一 議員 P.15

情報が一元化できるシステムの構築を

中嶋 時夫 議員 P.16

校則の見直しは

石原 浩二 議員 P.12

山田地区に刻銘版を設置できないか

畠中 博文 議員 P.13

消防団員の処遇改善はいつ行うのか

豊田 一元 議員 P.14

総合支所にまちづくり推進組織を

田上 孝樹 議員 P.15

児童生徒の不登校対策は

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

石原 浩二 議員



**問** 山田地区に刻銘版を設置できないか

**答** 慎重に検討すべき案件と認識している

**質** 戦没者遺族会の団体数と各地区の会員数を、どの程度把握しているか。  
**石坂社会福祉課長** 嘉麻市全体で遺族会は一つだが、地区ごとに支部が4団体ある。会員数は令和3年度276人と把握しているが、直近の会員数は把握していない。  
**質** 遺族会会員の平均年齢はどれくらいか。  
**社会福祉課長** 平均年齢は分からないが、高齢化が進んでいる。

**質** 慰霊碑周辺の管理整備について行政の支援は、どの程度行っているか。  
**社会福祉課長** 草刈りは年一回実施している。要望があれば範囲を協議し、樹木剪定を実施している。  
**質** 山田地区の戦没者慰霊碑に刻銘版が設置されていないが、他の地区はどうなのか。  
**社会福祉課長** 他の地区には戦没者慰霊碑刻銘版はあるが、山田地区の戦

没者刻銘版が無いことは把握している。  
**質** 山田地区の戦没者は880余の御霊を慰霊しているが、刻銘版を設置できないか。  
**社会福祉課長** 戦没者刻銘版設置については、平成28年8月に請願書が提出され、民生文教委員会に付託され12月議会で不採択になっている。したがって慎重に検討すべき案件である。  
**意見** 現状は承知の通り、山田地区のみ戦没者

刻銘版が設置されていないのが事実で、遺族会は会員数減少と高齢化が進み、平成28年の不採択時とは状況が変わっている。  
 遺族会活動や運営が困難な状況であることから、行政の支援が無いと、慰霊碑周辺の管理整備と戦没者慰霊碑の戦没者刻銘版設置は困難だ。  
 以上の理由から、戦没者慰霊碑周辺の管理整備と山田地区の戦没者慰霊



▲山田地区の戦没者慰霊碑

碑に戦没者刻銘版の設置を強く求める。  
 ※他に熊ヶ畑河川工事の死亡事故、公共工事の発注方式を質問。

廣瀬 公彦 議員



**問** 市場調査を下山田地区へ説明したか

**答** していない

**質** 今回のサウンディング型市場調査とは。  
**篠崎産業振興課長** 対話型市場調査とも言われ、民間事業者から広く意見や提案を求めることだ。  
**質** 市場調査の実施に当たって、地元下山田地区へ説明したか。  
**産業振興課長** していない。

**質** 吉庵計画地の地質調査は実施したか。  
**産業振興課長** 民間から進出意向があったから、  
**質** 隣接する山田白馬霊園の管理はどこか。  
**産業振興課長** 公の施設で、市の環境課だ。  
**質** 白馬霊園から三高山の山小屋まで遊歩道ができれば、大法白馬山と梅林公園まで周遊できる。可能性は。  
**産業振興課長** 地域の魅力を高める可能性はある。今後の検討課題だ。  
**質** 計画中のアウトドア施設に登山者向けピタ

ーセンターを併設できないか。  
**産業振興課長** 低山ブームもあり、来訪者へのサービス向上につながるが、費用対効果も併せて検討課題だ。  
**意見** 計画書には露天風呂サウナ施設、ドッグカフェも出ている。登山者が着替えができるスペースなら併設できるはずだ。また、地元の方がリーダーとなって利用すれば施設の存続はでき

る。  
**質** 大谷口から稲築中学校付近まで続く照葉樹林帯の評価と、今回の吉庵アウトドア計画をどう地元へ説明していくのか。  
**赤間市長** 本市でも有数の観光エリアだ。民間資本を活用して、地区の強みを生かせるアウトドア観光拠点施設を整備したい。実現すれば山田地区の活性化に大いに寄与する。



▲嘉麻市役所から大法山方面の眺望

しかし、地元の協力が無いと難しい面もある。説明会等については開催方法を内部協議して進めていく。  
 ※他に第3次観光振興基本計画書を質問。

畠中 博文 議員



**問** 消防団員の処遇改善はいつ行うのか

**答** 令和5年4月1日から行う

**質** 多様化する消防団員の役割は。  
**大野防災対策課長** 火災の出勤は減少しているが、排水作業、救助作業、ごみの撤去など風水害の作業が多様化・複雑化している。  
**質** 消防団員の現状は。  
**防災対策課長** 本市消防団は定数が790人、現在実人数は649人だ(141名不足)。  
**質** 国は市町村に消防団員の年間報酬は3万65

00円、出勤手当は8000円にするよう通達している。それに対し、当市では年間報酬は2万円、出勤手当は1800円(時間制限なし)だ。県内60市町村の約72%が国の基準に達している。その中で当市は下から3番目の低い水準だ。国は平成20年4月から消防団員の年間報酬を3万6500円とし、それに伴い地方交付税にも加算されている。また、令和3年

に消防庁から、「消防団と協議の上、令和3年3月末日までに改正し令和4年4月1日から施行すること」と指導助言されている。なぜ当市は見直しを検討していないのか。  
**大村企画財政課長** 昨年11月に協議し、令和5年4月1日から見直すことを内部決定した。  
**質** なぜそれを6月議会で報告しなかったのか。  
**企画財政課長** そのよう

な質問はなかった。  
**質** 本年度4月からの見直しはできないのか。  
**赤間市長** 現団長から令和2年4月に処遇改善の相談を受けたが、それまで報酬の水準についての問題提起なり、報酬の水準が課題であるという旨の引継ぎは受けていない。  
**質** この案件について担当課と市長との仲介役である副市長の見解は。  
**山田副市長** 報酬は、低



い水準であり、早急に見直すことが必要だ。対応案の作成を担当課長に指示している。

田中 義幸 議員



**問** 教員による性暴力の状況は

**答** わいせつ行為の処分者は30人だ

**質** 教員による児童・生徒への性暴力状況は。  
**芳野学校教育課長** 2019年までの10年間で、わいせつ行為の処分者は、福岡県内で30人。本市はいない。  
**質** 性暴力防止対策は。  
**学校教育課長** 教員には、密室状態で児童・生徒と二人きりにならない、一対一でメッセージの送受信をしないなどを指導。また、低学年児童にはプライベートゾーンとして

大事な所であること、人に見せない触らせないことを学習させている。中学校生徒には、福岡県が、性暴力アドバイザーを各学校に派遣し授業をしている。  
**質** 教職員の時間外労働時間を問う。  
**学校教育課長** 月間80時間を超えている教職員は、小学校6・8%中学校31・9%だ。部活動指導が、主な原因ととらえ

ている。  
**非正規教職員の状況**  
**質** 教職員の非正規職員割合を問う。  
**学校教育課長** 本市は、福岡市と比べて10ポイントほど高い。  
**質** 斎場運営はどうしているのか。  
**溝口環境課長** ふくおか県央環境広域施設組合が管理し、指定管理者制度で運営している。年間委託料は2600万円だ。

**質** 福岡市では昨年度、残骨灰に含まれる金等の希少金属を売却し、5400万円の収入にしたとのことだ。本市はどうしているのか。  
**環境課長** 有価物の換金は、行っていない。  
**質** 企業の騒音問題  
**質** 騒音問題で現地調査の要請をしたが。  
**環境課長** 騒音を確認し、企業に対策を依頼した。  
**市バス停のベンチ設置**

**質** 市バス利用者の多い所は、ベンチ等を設置すべきではないか。  
**平川総務課長** 優先順位を決め、設置する。  
 ※他に人権問題を質問。



豊田 一元 議員



**問** 総合支所にまちづくり推進組織を

**答** まちづくり対応の役割は検討する

**質** 本市におけるコミュニティ衰退による弊害の認識は。  
**平川総務課長** 特に共助を中心とした助け合い弊害を危惧している。

**質** 行政区加入状況と課題は。  
**総務課長** 加入率70%を割る状況であり、高齢化で地域活動の担い手不足の課題がある。

**質** 加入率低下の要因は回覧板を無くし、配布文書を制約したことである。  
**赤間市長** 市民の関心事である「社協だより」の全世帯配布復元の見解を。  
**総務課長** 社会福祉協議会が本市の補助団体であること、また広報麻蔴封入上限もあり配布していない。行政区長が社協に言えば可能と聞いている。

**質** 本市の社会福祉の多くを委託し補助金を交付して封入重量超過を理由に配布できないとは次元の違う問題だ。  
**総務課長** 令和2年の区長との協議経過もあり困難な状況だ。

**質** 各小中学校通信回覧は地域との連携で重要だが回覧できないか。  
**総務課長** 保護者等に配布し、広報にも掲載している。行政区の依頼があれば渡せる。

**質** 広報に全校区掲載は困難であり、区長任せで無責任だ。各総合支所で集約して配布することができないか。  
**赤間市長** 高齡化等によるコミュニティ衰退の危機意識と活性化策について見解を。



**質** 総務課で検討願う。各総合支所に協働のまちづくり推進組織を作ることは活力あるまちづくりに有効だ。組織編成に向けての検討は。  
**総務課長** 各総合支所のまちづくり対応の役割は検討課題とする。

**質** 市のコミュニティ衰退の危機意識と活性化策について見解を。  
**赤間市長** 高齡化等によるコミュニティ衰退の危機意識はある。一方小さな拠点づくりも取り組んでおり、市民の郷土愛を育む環境づくり、自治意識の醸成が必要と考えており検討課題とする。  
 ※他にコロナ第7波の現状と対策を質問。

出水 貴之 議員



**問** 消防団詰所の整備計画は

**答** 現在のところない

**質** 消防団員数の減少の要因に、若年層の減少がある。消防団の存在意義や役割、やりがい等が伝わるようSNSを活用した広報を行っているか。  
**大野防災対策課長** SNS等については今後、実施活用していきたい。

**質** 消防団の現状を知るためにアンケートの実施が必要と考えるが見解はどうか。  
**防災対策課長** 提案してもらったので、実施は検討したい。

**質** 消防団の詰所は何棟あり、そのうち老朽化している詰所はどの程度あるのか。  
**防災対策課長** 管理している詰所等は、大小合わせて47棟ほど。建築年度が不明な古いものもある。必要に応じて修理等を行い、維持管理をしている。

**質** 消防備品等を保管する場所や、土のうなど災害用備品の置場がない詰所の把握はしているか。  
**防災対策課長** 把握はしていない。確認の上、可能な限り対処したい。

**質** 消防団詰所の整備計画は、現在あるか。  
**防災対策課長** 現在のところ整備計画はない。

**質** 緊急防災・減災事業債という有利な財源もある。詰所や格納庫などの整備計画を立ててもらいたいが見解はどうか。  
**赤間市長** 意見・要望を集約・精査させた上で、全体的な調整等を行っていきながら、必要な場合には有利な財源を活用して対応していきたいと考えている。



田上 孝樹 議員



**問** 児童生徒の不登校対策は

**答** 不登校ゼロに向けて進めたい

**質** 小学校から中学校に進学した際に、環境の変化に対応できず不登校の急増や学力の低下として現れる、中一ギャップが問題となっているが本市の状況は。

**芳野学校教育課長** 令和3年度、子どもたちが中学一年生になった時、不登校生徒数が16名に増加している。この中には、中学校になって初めて不登校になった生徒が7名いた。本市の現状とし

て、中一ギャップと言われる状況は発生している

**質** 中一ギャップの解消に向けた取り組みは。

**学校教育課長** 来年度、3校義務教育学校が開校する。9年間を見通した教育活動を進めていく事で、ある程度統一を図っていくなどの取り組みで、対応も充実できると考える。

**質** 長期の休み明け、特に夏休み明けは、子ども

**質** 長期の休み明け、特に夏休み明けは、子どもの心が不安定になりやすく、授業についていけないなど、さまざまな理由から学校に行きたくないとの心身状態から不登校、欠席が増えると言われている。本市の状況は。

**学校教育課長** 本市においても、長期休業後に欠席する児童生徒が増加傾向にある。要因としては、生活リズムが壊れ朝

起きれない、宿題が十分終わっていないなどを気にしてと思われる。

**質** 休み明け前後は、家庭内で、子どものSOSに気づくことも大事であるが、教育委員会としての対応は。

**学校教育課長** 2学期のスタートに向けて気になる子どもに、どのような関りをしていくかと協議し、各学校に指示している。また、本人や保護者との教育相談も実施して

いる。

**木本教育長** 不登校ゼロに向けて、関係機関の協力を得ながら取り組みを進めていきたい。

※他に訪問販売・買取による消費者トラブルを質問。



藤 伸一 議員



**問** 情報が一元化できるシステムの構築を

**答** デジタル戦略課を中心に調査・研究を行う

**質** 子どもの貧困・虐待対策として、各課が子ども自身や世帯の情報をどのような方法で、管理しているのか。

**新原保護課長** 紙の台帳で管理し、子どもの生活状況は関係機関とケース会議等を通じて情報共有を行っている。

**上村こども育成課長** 児童扶養手当と児童手当は、システムでデータ管理し、保育所や学童保育は紙ベースの台帳と同じ

情報をシステムでデータ管理している。

**芳野学校教育課長** それぞれの業務担当者がデータ管理し、データを突き合わせて確認している。中には健康診断票は紙媒体で管理しているものもある。

**柴田子育て支援課長** 母子保健・児童福祉に関する個人情報があり、母子保健に関しては、個人ごとのデータと台帳を紙媒体で管理している。児

童福祉に関しては、今年度からシステムでの情報管理をしている。

**質** 各課に分散した情報を一元化できないのか。

**子育て支援課長** 一元化することで、長期的支援を行う中、その子を取り巻く環境の変化も随時確認でき、支援の対応も可能になる。

**質** 大阪府箕面市では、子ども見守り室を設置し、分散している情報を

集約するために「子ども成長見守りシステム」を構築し、子どもに関する情報を定点観測し、大人になるまで追い続け、随時必要な支援を行っている。このようなシステム構築の考えは。

**赤間市長** 個人情報の取り扱いなど慎重に検討する必要があるが、国の動向を踏まえ、関係各課とデジタル戦略課と連携し、調査・研究を行っていく。

※他に昆虫産業都市構想に基づく昆虫ビジネス（九州大学と協定締結）を質問。



# 9月の 補正予算

※千円以下切り捨て

一般会計	7億2,856万円
総額	302億6,357万円
国民健康保険 特別会計	4万円
総額	53億1,300万円
介護保険 特別会計	8万円
総額	57億9,697万円
後期高齢者医療 特別会計	0万円
総額	6億6,333万円
住宅新築資金 特別会計	0万円
総額	4,284万円
水道事業会計	0万円
収益的支出	6億8,348万円
資本的支出	5億4,924万円
6会計総額	433億1,243万円

## 一般会計補正予算の主なもの

### 歳入

- ◆農業対策事業費補助金 2,746万円
- ◆農林施設災害復旧事業債 4,970万円

### 歳出

- ◆経済活性化交付金 2億1,630万円
- ◆道路災害復旧工事 1億600万円



## 中嶋 時夫 議員



**問** 校則の見直しは

**答** 教育の目的に照らして進めていく

**質** 髪形や服装は、その人のライフスタイルであり、本来自由であるべきものが規制の対象になっ

**芳野学校教育課長** 制服等は、生徒同士の日常点検と担任等による目視点検を行っている。また、生活点検週間を設定し、重点的な取り組みを行っている。

**質** スカートの長さや眉の手入れ、整髪などのチェックはどうしているか。

**質** 教育長の見解は。木本教育長 校則は子どもが安心して楽しく学校生活を送れるためにある。子どもの人権が守ら

**質** 疑義があり問題視されている校則は、教育の目的に照らして適切か、現状に合っているのか、絶えず見直しを進めていく。

れている。憲法や子どもの権利条約、こども基本法などから校則の見直しが必要ではないか。

は、新制度の趣旨に反し

**質** 地公法が改正されて会計年度任用職員制度ができた。改正の目的が、行政需要の多様化に対し、公務の能率的かつ適正な運営維持するためならば、会計年度任用職員の待遇に関してはフルタイムが原則であり、一律パートタイムというのは、フルタイムで雇用してい

れているかどうかの視点で、規則を見直し、新たに作り直していく。会計年度任用職員

原則とその職責による。

**赤間市長** 同一労働同一賃金の根幹は、職務給の報酬を引き下げるのではなく、人への投資としてフルタイムで雇用していくような労働条件の改善が人づくりである。任命権者である市長の見解は。

ているのではないかと。市の方針は、原則31時間勤務と定めている。



一様にフルタイム雇用にするのは慎重な検討を行う必要がある。